

主要事業箇所（直轄・補助）事業

信濃川下流の緊急治水対策の推進

にいがた にいがた さんじょう か も ながおか
新潟県新潟市、三条市、加茂市、長岡市 等

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

平成 16 年 7 月 12 日～13 日の梅雨前線豪雨(新潟・福島豪雨)により、信濃川下流の支川刈谷田川(県管理河川)、五十嵐川(県管理河川)では全半壊を含む床上床下浸水約 1 万棟、浸水面積約 2,500ha におよぶ甚大な被害を受けました。

この災害に対し、国、県が連携して上下流一貫した緊急治水対策として、平成 16 年度より直接被害のあった刈谷田川、五十嵐川においては「河川災害復旧助成事業(県)」が、また、同助成事業により流量増となる下流側の刈谷田川下流部(県)及び信濃川下流(国)においては、その受け皿確保として「河川災害復旧等関連緊急事業」を、それぞれ実施しています。

今回「河川災害復旧等関連緊急事業」と併せて、排水樋門設置等の河川改修事業を推進することにより、信濃川下流域全体の治水安全度を早期に向上させます。

整備効果

この事業の実施により、今回被害の大きかった三条市、加茂市、長岡市(旧中之島町)はもとより新潟市をはじめとする信濃川下流域全体の治水安全度をさらに向上させます。

事業着手

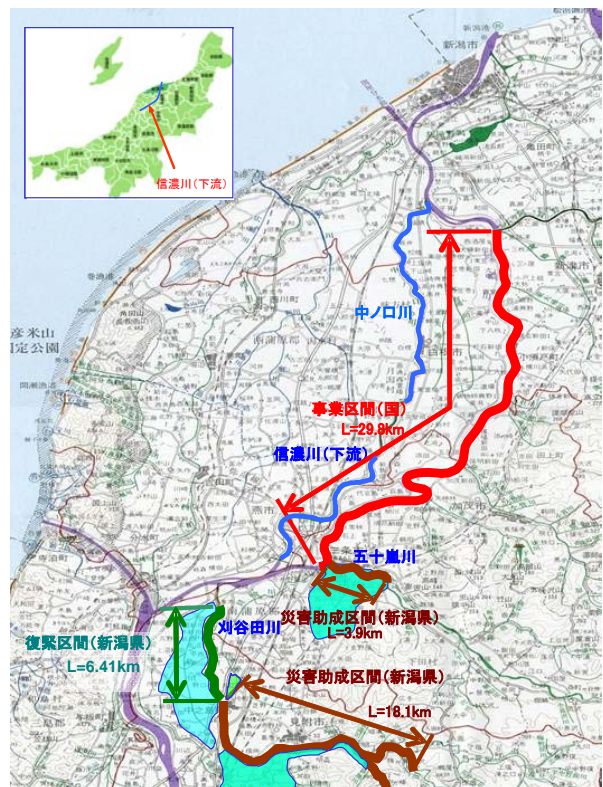
平成 16 年度

平成 20 年度補正予算の内容

治水安全度向上のため、排水樋門等を施工します。



五十嵐川の堤防決壊により浸水被害が発生



主要事業箇所（直轄・補助）事業

新潟海岸海岸堤防の空洞化対策の実施

にいがたし
新潟県新潟市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、海底地形の侵食傾向が沖合にも進行し、施設被害が頻発している。海岸侵食による新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあることから、広域にわたる侵食制御と砂浜安定化を図るため、平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

整備効果

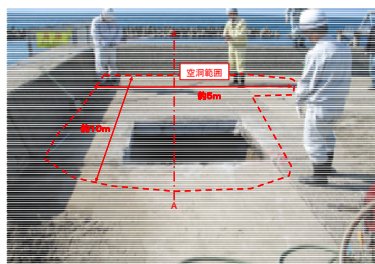
金衛町工区においては砂丘が消失しているため、平成19年2月の冬季風浪においても堤防背後の空洞化が発生しており、この空洞化現象は、堤防基礎部からの土砂吸出しが原因となっています。その後継続的な空洞化の点検を実施してきたところ、平成20年8月に新たな空洞化が発見されたことから、土砂吸出し防止対策を実施し、再度災害の防止を図ります。

事業着手

昭和52年度（金衛町工区は平成19年度）

平成20年度補正予算の内容

平成19年度より直轄による海岸保全施設整備に着手した金衛町工区において、空洞化が発見された箇所の土砂吸出し防止対策を実施します。



平成19年4月 空洞箇所の状況



平成20年8月 空洞箇所の状況



平成20年8月 空洞箇所の状況

主要事業箇所（直轄・補助）事業

おおどころ

大所 第1, 2号砂防えん堤補修の整備推進

にいがた いといがわ

新潟県糸魚川市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

おおどころ

大所川流域の基幹えん堤である大所第1, 2号砂防えん堤は、平成7年7月豪雨等度重なる土砂を伴う洪水により砂防えん堤の天端が摩耗し、このまま放置すると砂防えん堤の土砂流出抑制・調節機能が失われてしまいます。

このため、今後の豪雨に伴う出水により、さらなる施設損傷を受けることを防止するため、被災箇所の補修を行います。

整備効果

被災箇所の補修を行うことにより、さらなる被災の拡大を防止し、下流域への土砂災害発生の防止を図ります。

事業着手

平成20年度

平成20年度補正予算の内容

砂防えん堤の補修工を行います。

位置図



大所第1,2号砂防えん堤地点全景



大所第1号砂防えん堤天端損傷状況

黄色 H20年度 完成
赤色 補正予算要求箇所

主要事業箇所（直轄・補助）事業

にほんかいえんがんとくほくじどうしゃどう

日本海沿岸東北自動車道

あらかわ
（荒川 I C（仮称））
あさひ
～朝日 I C（仮称））の整備推進
にいがた むらかみ
新潟県村上市

- 活力を育む地域づくり
- 安全で安心な地域づくり

事業の概要

日本海沿岸東北自動車道は、新潟空港 I C を起点とし、酒田市、秋田市を経て青森 I C に至る延長約 320 km の高規格幹線道路です。

整備効果

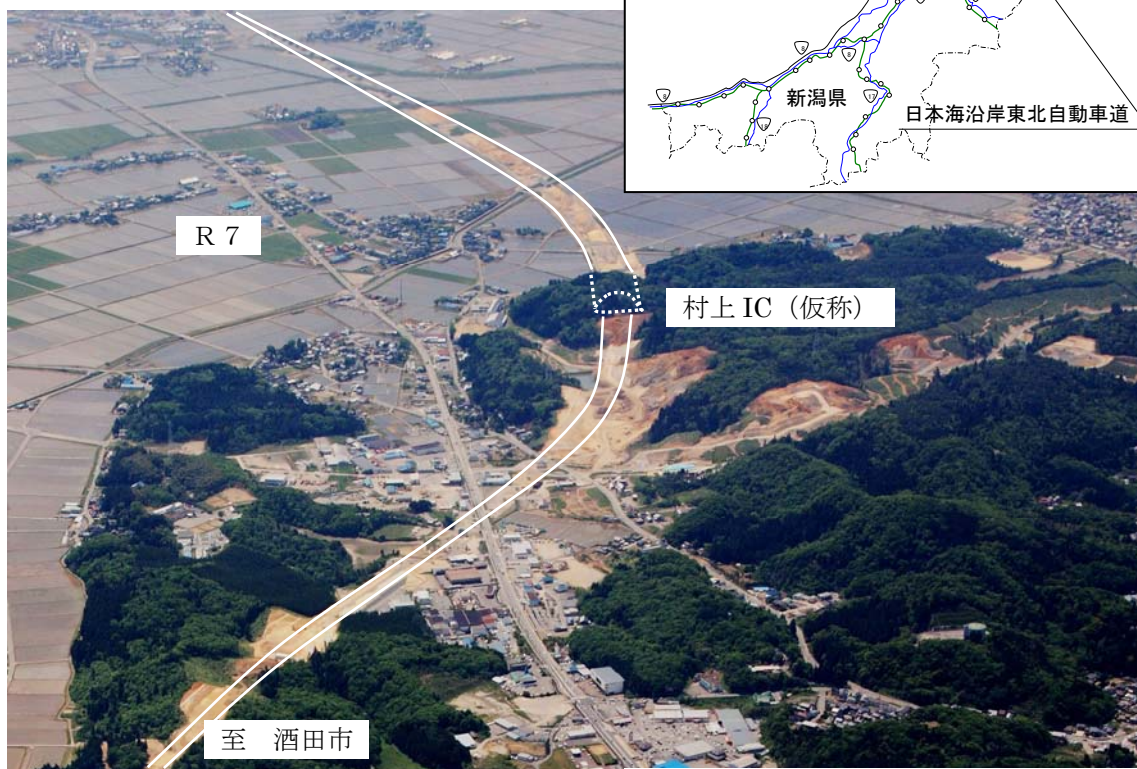
当該区間の整備により広域的な高速交通ネットワークが大幅に充実することで、医療活動が充実するとともに、物流エリア拡大および広域観光交流に大きく寄与します。

事業着手

平成 18 年 2 月 7 日に開催された第 2 回国土開発幹線自動車道建設会議において、荒川 I C から朝日 I C 間の 20.4 km について、直轄による整備が位置づけられ、平成 18 年 2 月 28 日の整備計画の変更により、新直轄方式で整備しています。

平成 20 年度補正予算の内容

早期完成に向け、村上 I C および古渡路地区の改良工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の早期整備を目指します。



村上市仲間町地先より新潟市方向を望む

主要事業箇所（直轄・補助）事業

<h1>国道113号</h1>	<p>まつはまばしじょうりゅうきょう 松浜橋上流橋事業の推進 <small>にいがた にいがた</small> 新潟県新潟市</p>
-----------------	---

- 活力を育む地域づくり
- 安全で安心な地域づくり
- 住みよい地域づくり

事業の概要
 松浜橋上流橋は、松浜橋の慢性的な交通混雑の緩和を目的とし、国道7号阿賀野川大橋と国道113号松浜橋の間に新たな橋を架ける延長約3.1kmの事業です。

整備効果
 当該事業の整備により、現国道113号の交通混雑が大幅に緩和される他、年間約4,400t-CO₂のCO₂排出量の削減が見込まれます。

事業着手
 平成13年度（直轄権限代行）

平成20年度補正予算の内容
 名目所から西名目所地区の改良工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の平成21年度供用を目指します。

○ : H20 補正施工箇所

主要事業箇所（直轄・補助）事業

ひといち 一日市IC橋耐震補強事業の推進

にいがた
新潟県新潟市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

国道7号は、東北地方と北陸地方を結ぶ重要な路線であるとともに、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

新潟県新潟市に位置する一日市IC橋は、日交通量約8万8千台を支える新新バイパスの橋梁であり、被災した場合は、緊急輸送道路の分断及び復旧・救急・消防活動及び経済活動に重大な支障をきたす恐れがあることから、橋脚補強による震災対策を実施します。

整備効果

震災時の緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成20年

平成20年度補正予算の内容

橋脚の耐震補強を実施します。

全景写真

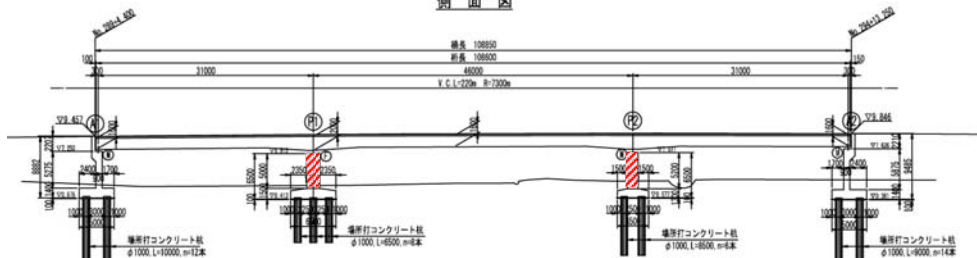


一般国道7号 一日市IC橋

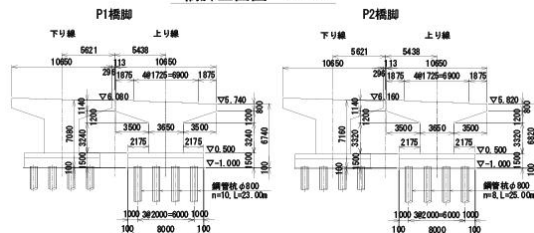
位置図



側面図



橋脚正面図 S=1:200



主要事業箇所 (直轄・補助) 事業

国道17号 下島自歩道事業の推進

しもしま
にいがたけん 新潟県
うおぬまししもしま 魚沼市下島
たがわ 同市田川

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

国道17号魚沼市下島～同市田川間は、家屋連担部で付近に小学校、駅、工場などが立地しています。

このうち、上り線側の歩道は通学路に指定されていますが、歩道幅員が狭いため、すれ違いが困難です。また、段差があり危険な状況です。

このため、当該区間の歩道拡幅及び段差箇所を解消し、通学児童を含む歩行者の安全で快適な歩行空間を確保するものです。

整備効果

歩道を拡幅し段差を解消することにより以下の効果が見込まれます。

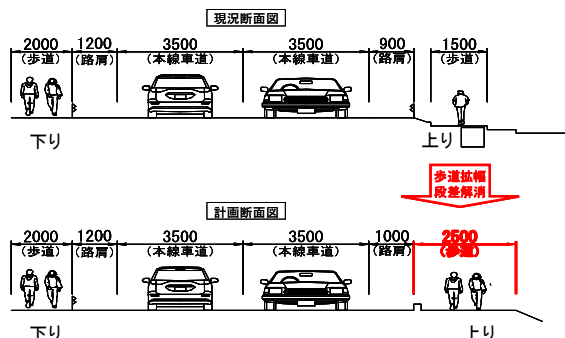
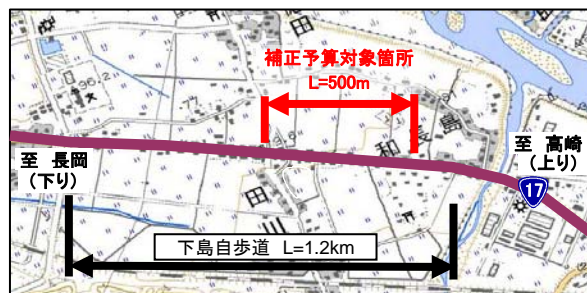
- ・安全で安心出来る歩行者空間が確保されます。

事業着手

平成19年度

平成20年度補正予算の内容

補正予算で和長島交差点～田川交差点間の約500mを整備し、本事業の完成を図ります。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

一般国道460号 巻南バイパス事業の推進

にいがた にいがた
新潟県新潟市

- 安全で安心な地域づくり
- 住みよい地域づくり

事業の概要

巻南バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消及び多発する交通事故対策を実施し、安全性・信頼性の高い道路空間の確保を目的とする延長9.8kmの2車線道路です。

整備効果

生活幹線ネットワーク機能を確保するとともに、安全で安心な交通確保を図ります。

事業着手

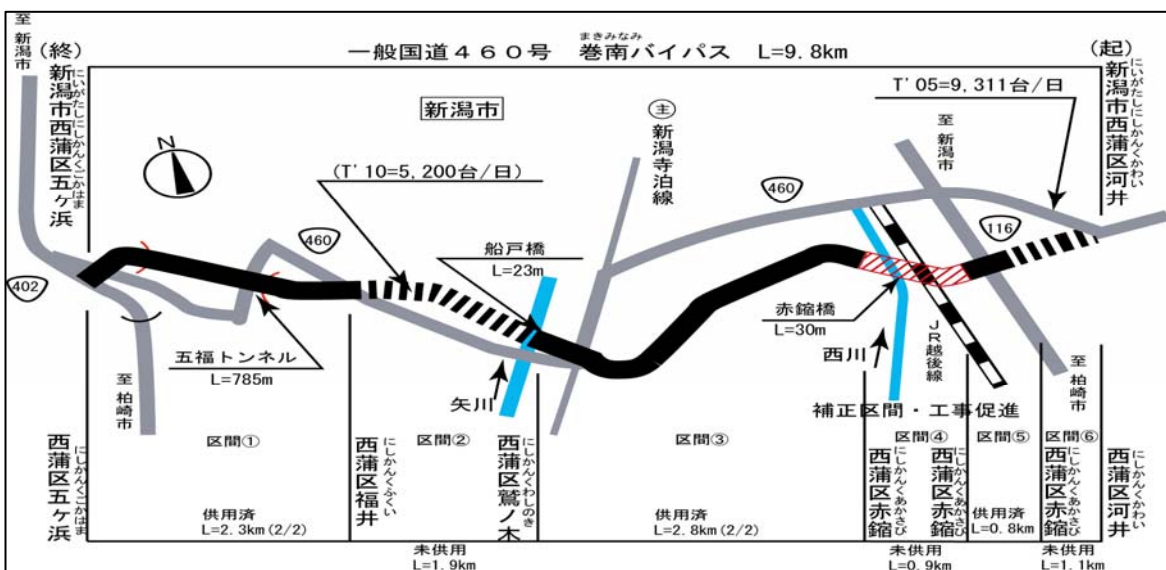
昭和49年

平成20年度補正予算の内容

赤鑑地区の改良工事を促進し、平成21年の供用を目指します。



凡	例
供 用 中	■■■■■■■■■■
事 業 中	■■■■■■■■■■
平成20年度補正箇所	■■■■■■■■■■



主要事業箇所（直轄・補助）事業

新潟港海岸（西海岸地区）侵食対策事業の推進

にいがた にいがた
新潟県新潟市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

新潟港海岸西海岸地区は、日本海側特有の冬期風浪等の影響を受ける日本有数の侵食海岸であり、離岸堤と護岸による侵食対策工事が行われてきました。これらの施設の機能維持には半永久的な補強対策が必要となること及び老朽化による施設の倒壊や越波被害の危険性が高いことから恒久的な対策として、海岸地形の安定と広い静穏水域を創出し、防護に加えて景観・親水空間にも配慮した面的防護工法による海岸整備を推進中です。

整備効果

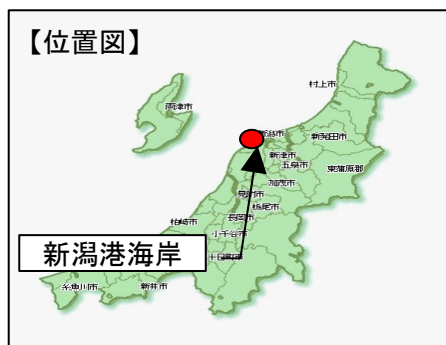
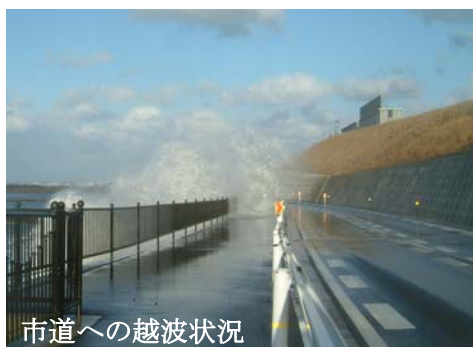
面的防護工法により失われた砂浜の復元と背後地域の安全を確保します。

事業着手

昭和61年

平成20年度補正予算の内容

補正予算の投入により護岸（養浜）工事を円滑に推進します。



主要事業箇所（**直轄**・補助）事業

しょうがわ

庄川 下流部弱小堤対策の推進

とやま たかおか
富山県高岡市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

庄川は砺波・射水平野を貫流する急流河川であり、氾濫域には高岡市・射水市等の人口、資産等が集中しています。また、下流部は流下能力が大きく不足していることから、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。平成16年10月の台風23号出水では、観測史上最大の流量を観測するとともに危険水位を超過し、庄川下流左岸の高岡市、射水市で避難勧告が発令されました。

このため、治水安全度の向上を目的に、大きく流下能力が不足している石瀬地区において河積を確保するための築堤を推進します。

整備効果

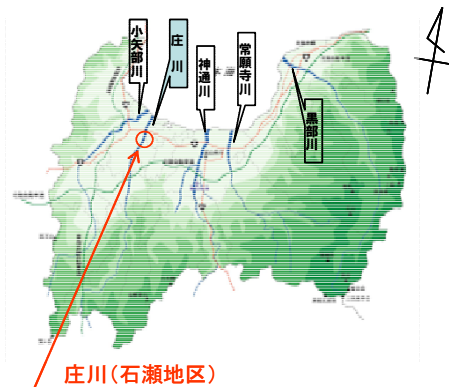
戦後最大流量を記録した平成16年台風23号と同程度の出水でも安全に流すことができるようになります。

事業着手

平成19年度

平成20年度補正予算の内容

築堤等を引き続き整備し、早期完成に向けて事業を推進します。



築堤（弱小堤対策）の整備状況

主要事業箇所（直轄・補助）事業

小矢部川上流部における河積確保を推進

とやま おやべ
富山県小矢部市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

平成20年7月28日に小矢部川において発生した出水では、直轄管理区間に設置されている津沢水位観測所・石動水位観測所で観測史上最高の水位を記録する既往最大規模の出水となりました。

この出水では、直轄管理区間においては大規模な浸水被害等は発生しなかったものの、津沢大橋より上流の区間においては洪水時の水位が計画高水位（HWL）を上回り非常に危険な状況となりました。このため、治水安全度の向上を目的に、平成20年7月28日出水で計画高水位（HWL）を超過した区間において河積確保のための河道掘削を実施します。

整備効果

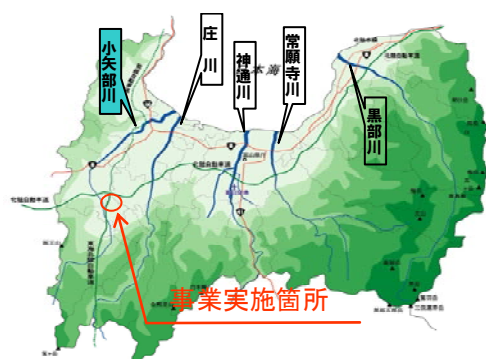
河道掘削を実施することにより、流下能力の向上を図り、治水安全度を向上させます。

事業着手

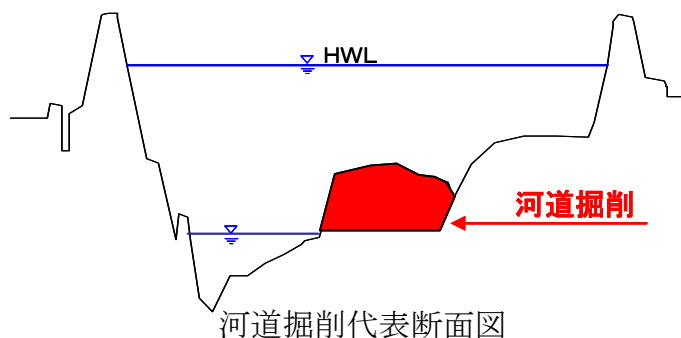
平成20年度

平成20年度補正予算の内容

河道掘削を実施することにより、治水安全度を向上させます。



7月28日小矢部川出水状況（津沢大橋付近）



河道掘削代表断面図

主要事業箇所（直轄・補助）事業

小矢部川警報装置の整備

とやま たかおか おやべ
富山県高岡市、小矢部市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

近年、局所的な集中豪雨により短時間で河川水位が著しく上昇する出水が頻発し、早急な対策が求められています。

小矢部川においても、既往最大規模の出水となった平成20年7月28日出水において3時間で5.7mもの急激な河川水位の上昇が観測されました。

こうした状況の中、小矢部川における河川利用は、水辺の学校や親水護岸等の河川空間を一般の方々により様々な場面で広く利用いただいていることから、近年の集中豪雨による急激な水位上昇への早急な対応として、小矢部川をモデルケースとした防災情報提供のあり方について検討を行い、避難警報装置等の設置を行うものです。

整備効果

この事業の実施により、河川利用に対する安全度を向上させます。

事業着手

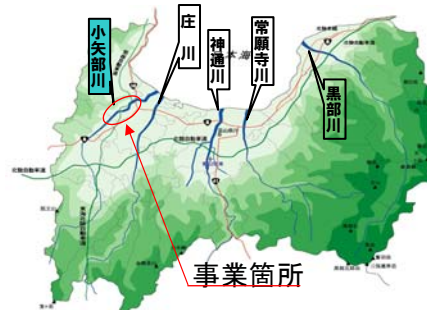
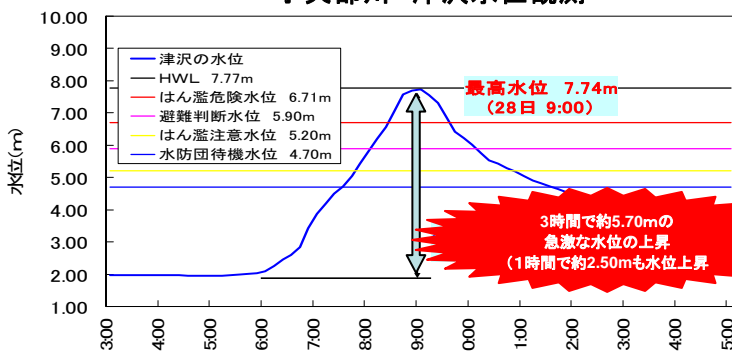
平成20年度

平成20年度補正予算の内容

防災情報提供のあり方について検討を行い、河川利用の安全度向上を目指し避難警報装置等の設置を行います。



小矢部川 津沢水位観測



7月28日出水時の津沢地区CCTV画像



主要事業箇所（直轄・補助）事業

だに スゴ谷床固工群の整備推進

とやま とやま
富山県富山市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

スゴ谷流域は上流に崩壊地を抱えており、下流に設置されたスゴ谷床固群はそれらの崩壊土砂を正常にコントロールし、流下させると同時に立山カルデラに入る唯一の林道を守るために設置されています。しかし、平成20年8月の局地的降雨により床固工の基礎部の洗掘が確認され、スゴ谷での土砂流出の調節機能を損なう可能性があるため、床固工の補強を行います。

整備効果

スゴ谷床固を補強することにより、下流域への土砂災害発生の防止を図ります。

事業着手

平成 20 年度

平成 20 年度補正予算の内容

床固工の補強を推進します。

位置図



主要事業箇所（直轄・補助）事業

ぼぼだに
祖母谷下流第2号砂防えん堤の完成
 とやま くるべ
富山県黒部市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

平成7年7月出水による祖母谷の大崩壊や、その後の出水により荒廃の進む黒部川上流の祖母谷においては、度重なる出水により大量の不安定土砂が堆積しており、下流域に災害を発生させる恐れがあるため、祖母谷下流第2号砂防堰堤の完成を目指します。

整備効果

祖母谷下流第2号砂防堰堤を完成することにより、下流域への土砂災害発生の防止を図ります。

事業着手

平成8年度

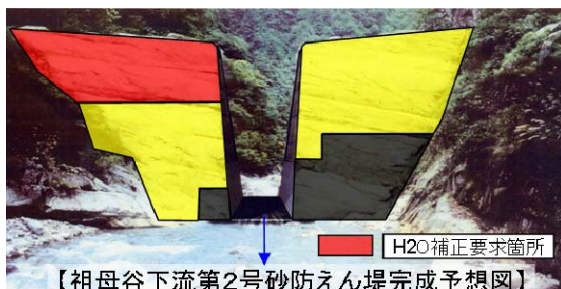
平成20年度補正予算の内容

砂防えん堤の完成を目指します。

【位置図】



上流祖母谷における大崩壊 大崩壊地



【祖母谷下流第2号砂防えん堤完成予想図】



主要事業箇所（直轄・補助）事業

はちまんがわ

八幡川広域基幹河川改修事業の一連区間完成

とやま たてやま
富山県立山町

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

はちまんがわ

八幡川では、平成10年8月豪雨により床下浸水24戸の被害が発生したため、平成14年度より事業に着手し、浸水被害の解消を図るため、狭小な現川区間を回避した捷水路の整備を実施しています。今回、平成20年7月8日の集中豪雨でも床下浸水5戸の被害が発生したことから、補正予算の投入により一連区間の整備を完了させ、浸水被害の解消を図ります。

整備効果

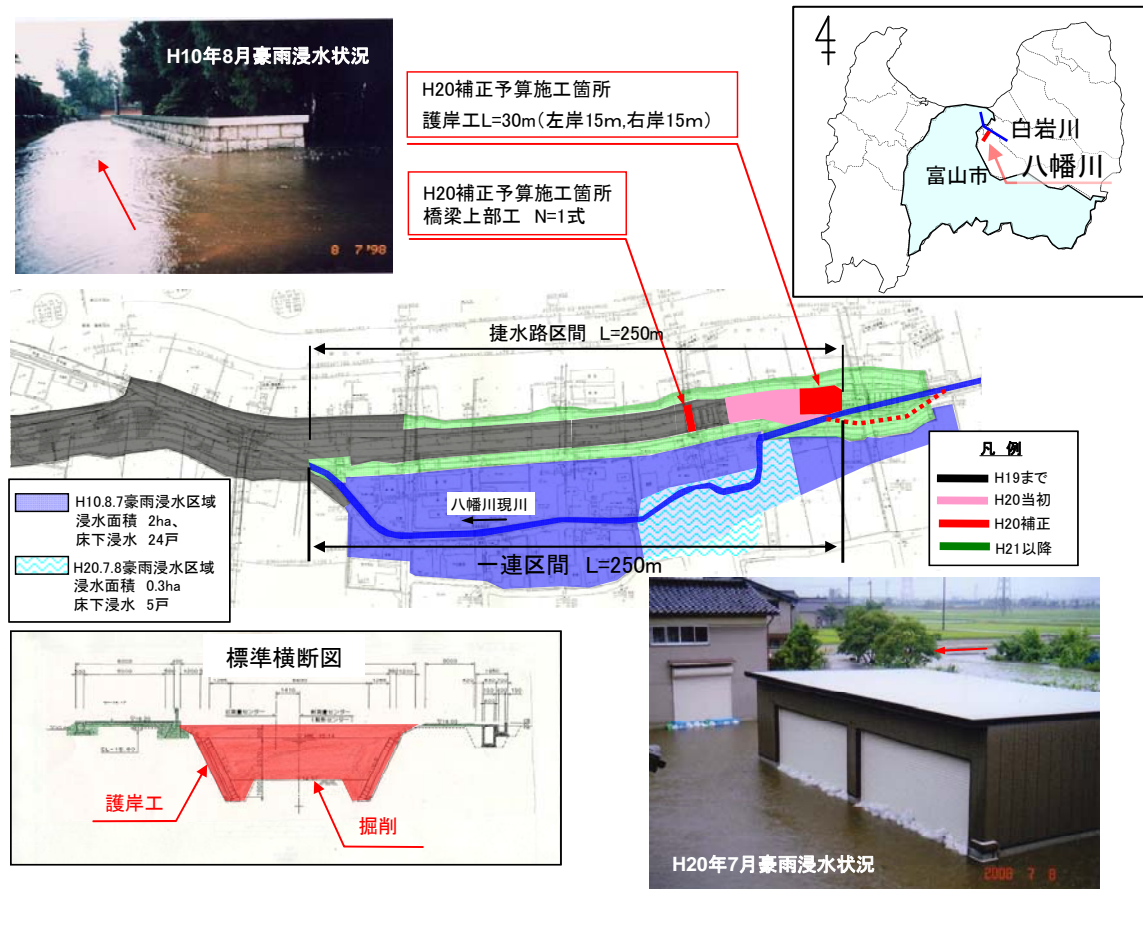
捷水路を整備することにより、平成10年8月豪雨及び平成20年7月28日豪雨の浸水被害を解消します。

事業着手

平成14年度

平成20年度補正予算の内容

一連区間の橋梁上部工並びに掘削・護岸を完了させ、浸水被害の解消を図ります。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

みやじがわ

宮路川都市基盤河川改修事業の促進

とやま とやま
富山県富山市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

みやじがわ
宮路川では、平成10年8月豪雨により床上浸水27戸・床下浸水181戸の被害が発生したことから、平成13年度より事業に着手し、流下断面が不足している区間の河道掘削・護岸整備を実施しています。今回、平成20年7月8日及び8月16日の集中豪雨でも床下浸水1戸の被害が発生したことから、補正予算の投入により整備を促進し、浸水被害の軽減を図ります。

整備効果

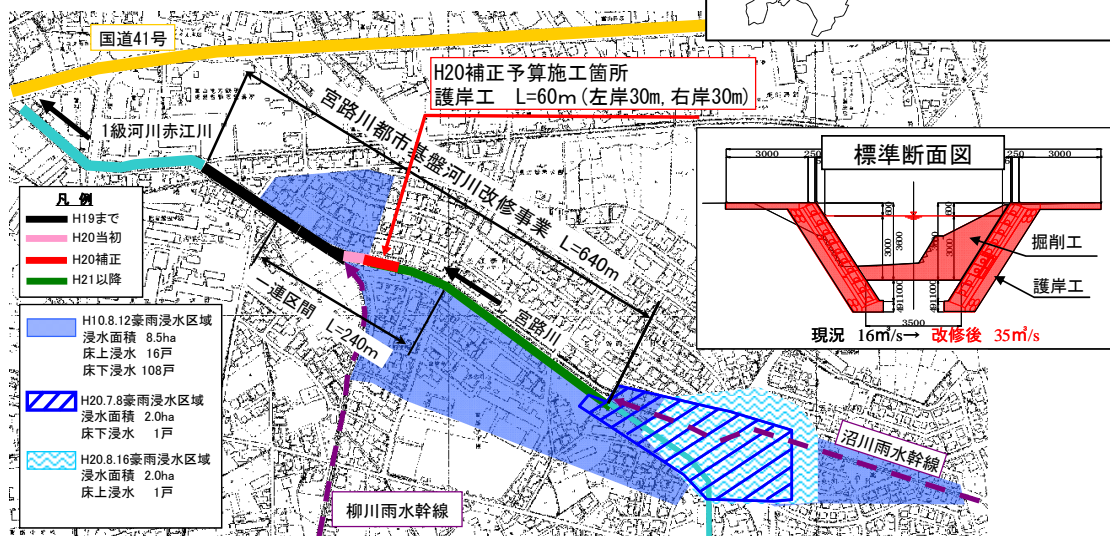
当面、下流部より河道掘削・護岸整備を実施することにより、平成10年8月豪雨及び平成20年7月8日及び8月16日豪雨の浸水被害の軽減を図り、事業完了後には浸水被害を解消します。

事業着手

平成13年度

平成20年度補正予算の内容

流下断面が不足している下流の河道掘削・護岸整備を促進し、洪水被害の軽減を図ります。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

おやべかわ じゃたにがわ 小矢部川水系蛇谷川他における流木止工の新規着手 とやま なんと 富山県南砺市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

平成20年7月28日の集中豪雨の際に南砺市の多くの溪流で土石流が発生し、土砂とともに大量の流木が流出しました。その結果、橋梁部で流木の停滞、河川水位が上昇し溢水を引き起こした他、護岸工欠損、裏込砕石流失などの被害をまねいたことから、流木止め施設を設置するものです。

整備効果

流木による下流域への被害の軽減を図ります。

事業着手

平成20年度

平成20年度補正予算の内容

小矢部川流域に設置されている既設砂防えん堤において、前庭保護部に流木止施設の設置に着手します。



既設砂防えん堤流木止工設置（イメージ）



流木による下流域の被害状況



太谷川（南砺市才川七）

要事業箇所（直轄・補助）事業

にゅうぜんくろべ
国道8号 入善黒部バイパス事業の推進
 とやま しもにかわ にゅうぜんまち くろべ うおづ
富山県下新川郡入善町、黒部市、魚津市

- 活力を育む地域づくり
- 安全で安心な地域づくり
- 住みよい地域づくり

事業の概要

にゅうぜんくろべ にゅうぜん うおづ
 入善黒部バイパスは、入善町から魚津市間の交通混雑の緩和を目的とした延長約16.1kmの事業です。

整備効果

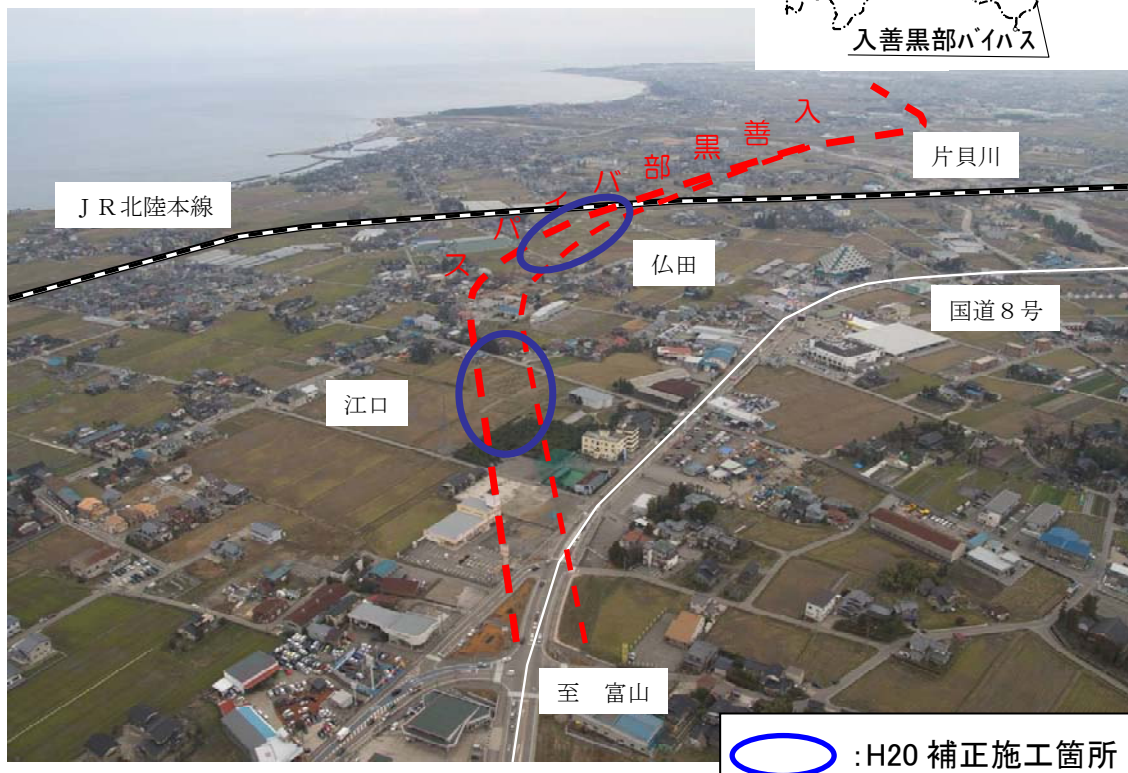
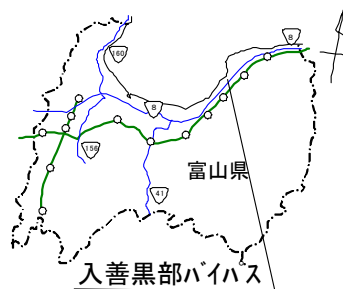
当該事業の整備により、現国道8号の交通混雑が大幅に緩和される他、バイパスを利用することにより、入善町から魚津市間の所要時間が約10分短縮され、また、年間約2,600t-CO₂のCO₂排出量の削減が見込まれます。

事業着手

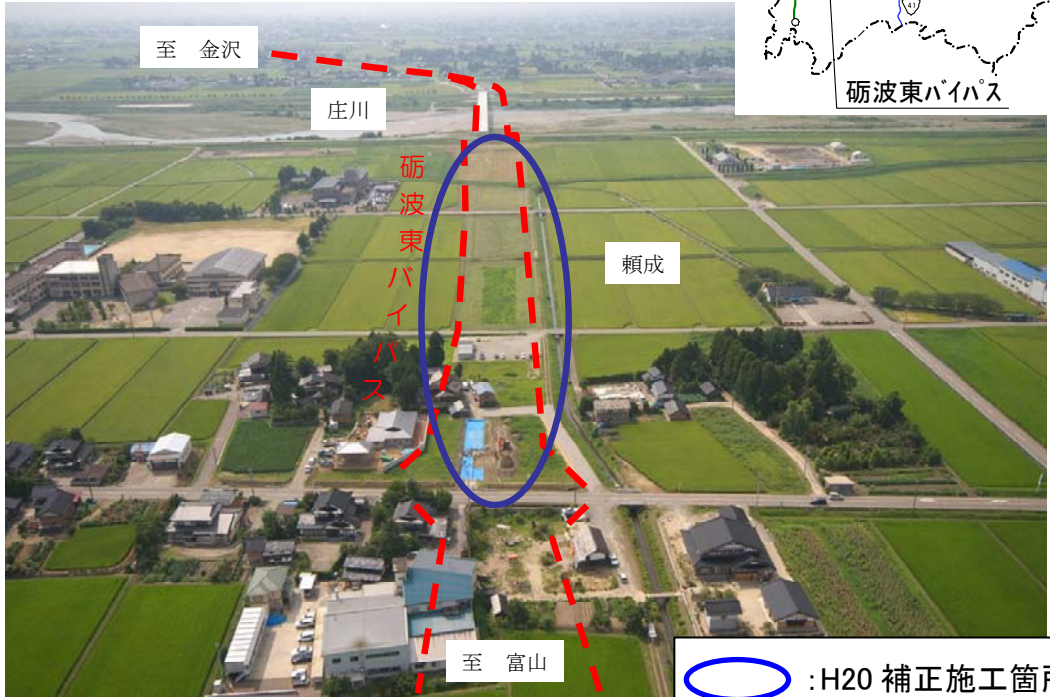
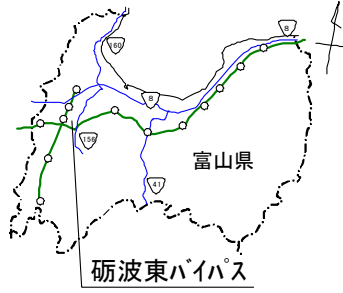

平成2年度

平成20年度補正予算の内容

魚津市江口・仏田地区の改良工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の早期整備を目指します。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

<p>となみひがし 国道359号 砺波東バイパス事業の推進 とやま となみ 富山県砺波市</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 活力を育む地域づくり ● 安全で安心な地域づくり ● 住みよい地域づくり 	
<p>事業の概要</p> <p>となみひがし 砺波東バイパスは、国道359号の歩道がなく幅員が狭小な区間や、冬期間の積雪等による交通障害の解消を目的とする、となみ せんだんのせりだに から たかんどう 砺波市梅檀野芹谷から高道に至る延長6.1kmの事業です。</p> <p>整備効果</p> <p>当該事業の整備により、バイパス区間の所要時間が、現道を利用するより約5分短縮され、また、現道の交通事故が約6割削減される見込みです。さらに、歩道がなく、道路幅員が狭小なため、冬期間の積雪等による交通障害が発生している区間を解消し、信頼性の高い道路ネットワークを形成します。</p>	
<p>事業着手</p> <p>平成9年度</p>	
<p>平成20年度補正予算の内容</p> <p>らんじょう 頼成地区の改良工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の平成21年度部分供用（ひさいずみ らんじょう 久泉～頼成 L=2.0km）を目指します。</p>	
	 <p>富山県 砺波東バイパス</p>
<p> : H20 補正施工箇所</p>	

主要事業箇所（直轄・補助）事業

きんせんじ 金泉寺高架橋(上) 耐震補強事業の推進

とやま たや
富山県富山市手屋

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、北陸の主要都市を連絡し京都府京都市に至る延長約580kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

富山県富山市に位置する金泉寺高架橋は、日交通量約4万3千台を支える橋梁であり、被災した場合は、緊急輸送道路の分断及び復旧・救急・消防活動及び経済活動に重大な支障をきたす恐れがあることから、橋脚補強及び落橋防止装置の設置による震災対策を実施します。

整備効果

震災時の緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成20年

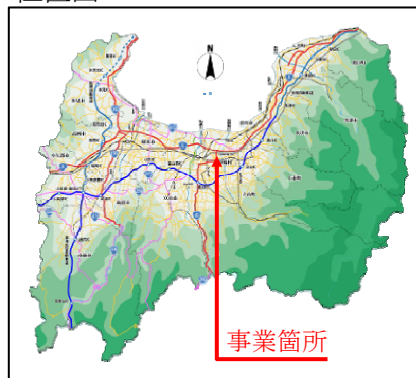
平成20年度補正予算の内容

橋脚の耐震補強及び落橋防止対策を実施します。

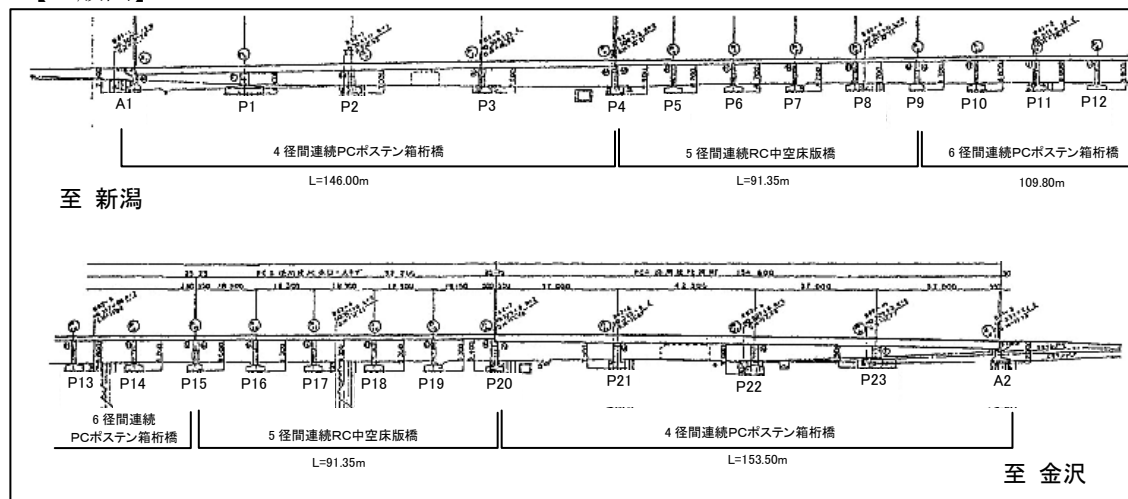
全景写真



位置図



【一般図】



主要事業箇所（直轄・補助）事業

あらまた
荒又2号橋 橋梁補修事業の推進
 とやま しもにかわ にゅうぜん
富山県下新川郡入善町

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、北陸の主要都市を連絡し京都府京都市に至る延長約580kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

富山県下新川郡入善町荒又に位置する荒又2号橋は、橋梁点検において、主桁に剥離・うき・鉄筋露出等の損傷が発見され、早急な橋梁補修対策が必要となっています。

このため、橋梁補修を実施し、橋梁の長寿命化を図ることで、安全・安心な道路ネットワークを確保するものです。

整備効果

橋梁の長寿命化及び緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

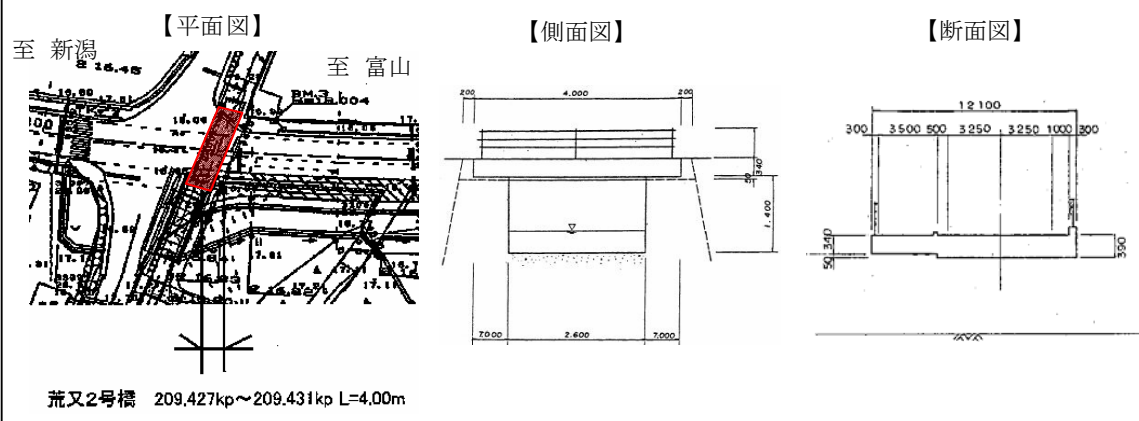
事業着手

平成20年

平成20年度補正予算の内容

平成19年度の橋梁定期点検によりコンクリートの剥離、鉄筋の露出が発見されたため、コンクリート部材の補修を推進します。

【損傷写真】



主要事業箇所（直轄・補助）事業

しんみなとしょうがわ しま
主要地方道新湊庄川線 島地区の推進
とやま いみず
富山県射水市

● 住みよい地域づくり

事業の概要

主要地方道新湊庄川線の島地区は、小学校の通学路に指定されており、歩道を設置することにより児童等の歩行者の安全を確保することを目的とした事業です。

整備効果

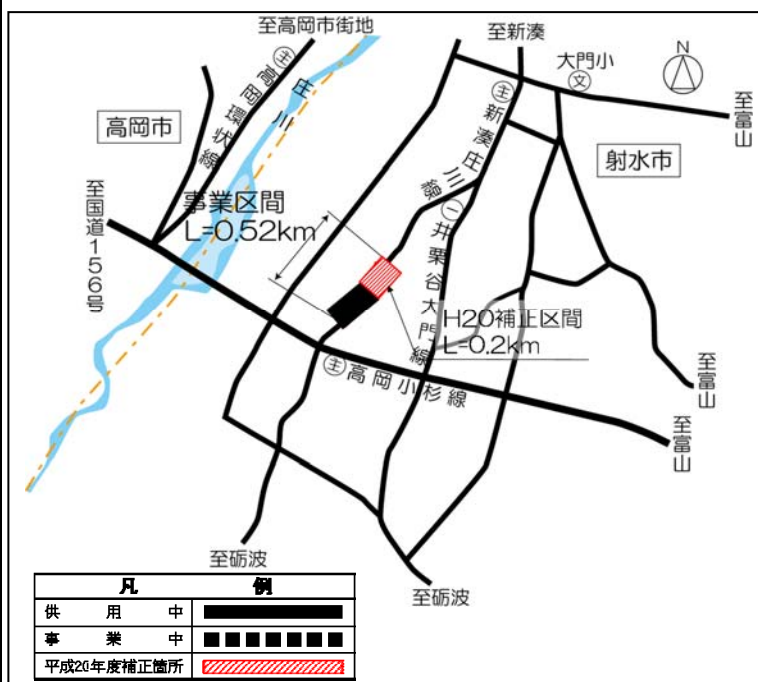
安全で快適な通行空間の確保

事業着手

平成18年

平成20年度補正予算の内容

歩道工事を推進し、平成20年度内の供用を目指します。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

富山大橋架け替え工事の促進

くればまちぶくろせん
 (都) 呉羽町袋線
 とやま とやま
 富山県富山市

●活力を育む地域づくり

事業の概要

本路線は、富山市と高岡市を最短距離で結び、3万台／日が通行する重要な幹線道路ですが、神通川に架かる富山大橋は昭和11年の架橋から70年以上が経過しており老朽化が著しく、現在、新しい橋に架け替えを行っています。架け替え後は車道が2車線から4車線となり、歩道も広がる他、路面電車軌道も複線となる計画です。

整備効果

朝夕の慢性的な交通渋滞が緩和するとともに路面電車の利便性向上が図られます。また、本路線は、富山県地域防災計画において緊急輸送道路に指定されており、災害に強い道路として大きな役割を果たします。

事業着手

平成11年

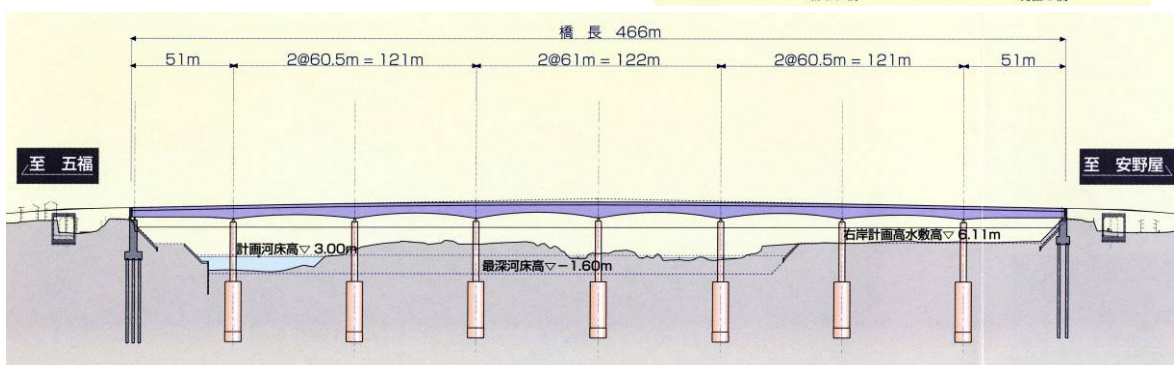
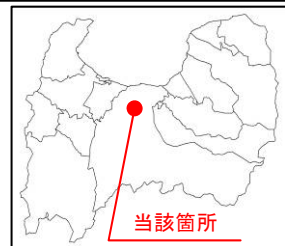
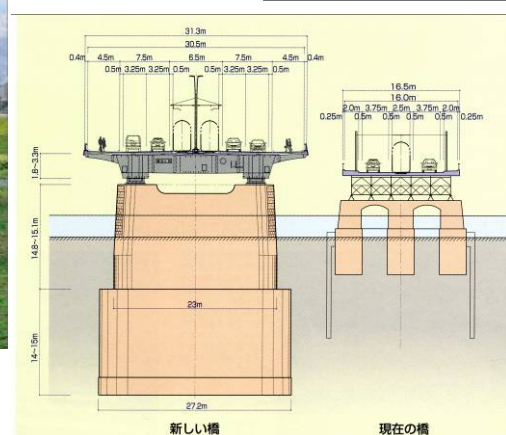
平成20年度補正予算の内容

平成20年度補正予算の投入により、橋梁上部工製作・架設工事を促進します。



橋梁側面図

橋梁横断面図



主要事業箇所 (直轄・補助) 事業

かけはしがわ

梯川重点区間 (小松地区) 改修事業の推進

石川県小松市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川で、氾濫域に人口、資産等が集中している一方で、洪水の流下能力が著しく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点～鍋谷川合流点間 (1.0k～7.6k 間) を重点改修区間と位置付け、下流部より順次、引堤による堤防整備により流下能力の向上を図っています。

また同改修区間においては小松天満宮 (国指定重要文化財) が存在し、地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

事業着手

昭和46年度

平成20年度の補正内容

小松市天神地区において堤防整備と併せ樋門等の附帯施設の改築を行います。



改修の進む梯川 (平成20年4月撮影)

主要事業箇所（直轄・補助）事業

石川海岸（片山津工区）の事業推進

かが
石川県加賀市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

小松海岸、片山津海岸は石川県の小松市、加賀市にわたる海岸で、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。

そのため、小松海岸、片山津海岸を平成16年6月に直轄石川海岸の区間として延伸、平成16年度より直轄工事に着手し、抜本的な侵食対策を行っています。

整備効果

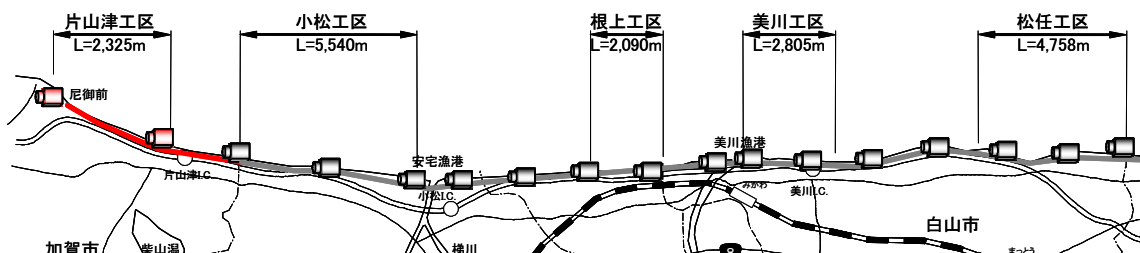
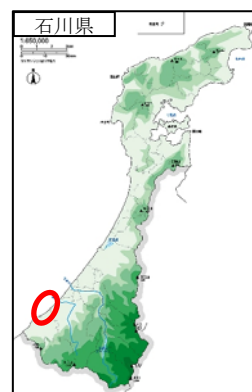
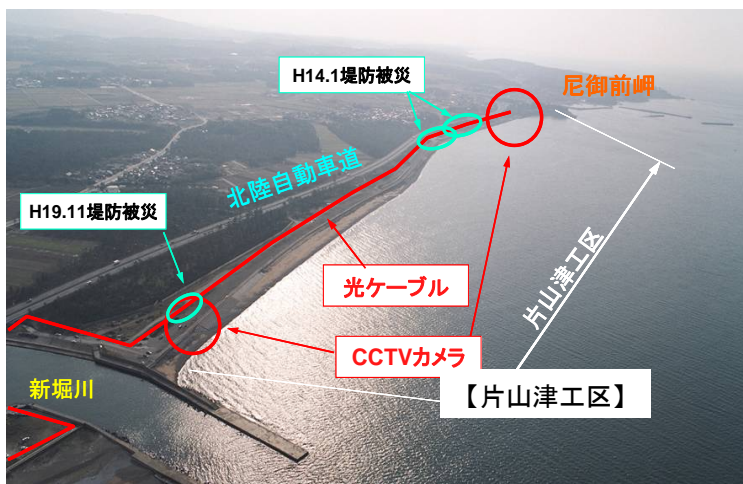
高波浪時の堤防の被災状況等を監視するため、CCTVを設置しモニタリング体制を強化し、地元住民の安全・安心を確保します。

事業着手

昭和36年度（小松工区、片山津工区は平成16年度）

平成20年度補正予算の内容

沖合施設整備が未施工であり、堤防天端陥没等の被害が相次いでいる片山津工区において、CCTVを設置し監視体制を強化します。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

べつとう 別当山腹工の整備推進

いしかわ はくさん
石川県白山市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

べつとうだに
別当谷では平成16年5月に発生した大規模な土石流により、登山用吊橋の流出や登山道に被害をもたらし、年間約5万人の登山者に甚大な影響を与えました。また、平成18年9月には山腹崩壊が発生し、今年度にも山腹崩壊が発生するなど荒廃の進む斜面において、発生源対策として山腹工を実施し、整備を推進します。

整備効果

発生源対策を行うことにより、上流へ向かう唯一の工事用道路及び地域経済の要である登山道及び直下流の登山基地の保全を図ります。

事業着手

平成19年度

平成20年度補正予算の内容

山腹工の整備を行います。

位置図



平成19年7月撮影



主要事業箇所（直轄・補助）事業

あさのがわ 浅野川都市基幹河川改修事業の促進

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

浅野川では、昭和27年、28年の豪雨水害を契機として、昭和30年に中小河川改修事業に着手し、河川改修を進めてきました。今回、平成20年7月28日の前線性豪雨により浅野川中流市街地において、家屋・住家で床上浸水465戸・床下浸水1,410戸の甚大な被害が発生したことから、補正予算の投入により、浸水被害の軽減を図るための河床掘削・護岸整備を実施し、事業を促進します。

整備効果

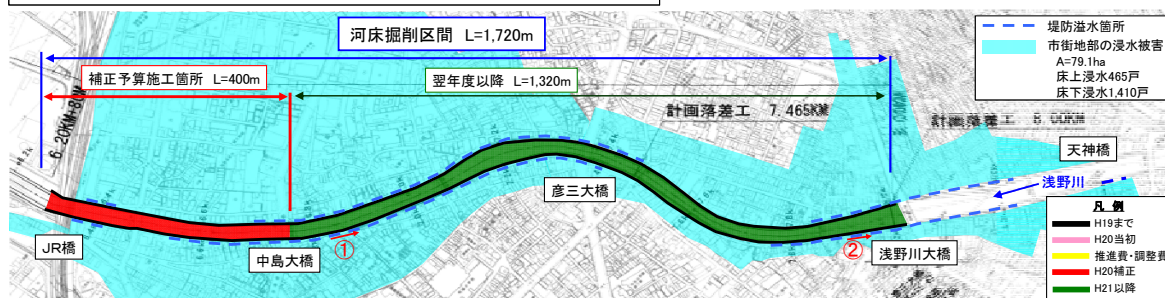
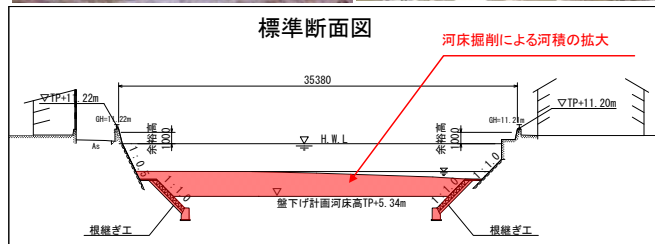
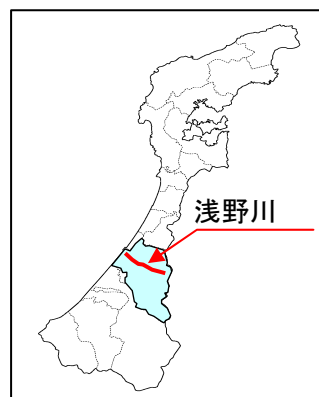
JR橋から中島大橋までの区間で河道掘削・護岸整備等を緊急的に実施し、河積を拡大することにより、平成20年7月28日豪雨において溢水被害が著しかった中島大橋付近の溢水を回避し、浸水被害の軽減を図ります。

事業着手

昭和30年度

平成20年度補正予算の内容

JR橋から中島大橋までの区間で河床掘削・護岸整備を実施し、中島大橋付近の溢水を回避し、浸水被害の軽減を図ります。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

おおのがわ いたがたにがわ
大野川水系板ヶ谷川における床固工等の新規着手
いしかわ かなざわ
石川県金沢市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

平成20年7月28日の豪雨により至る所で土石流が発生し、特に板ヶ谷川上流域では約27万m³もの大規模土石流が発生し、約24万m³の不安定土砂や流木が河道内に残存している状態です。下流部には被災家屋さらには緊急輸送道路でもある主要地方道金沢湯涌福光線が通っていることから、次期出水で再度被災しないよう砂防事業による早急な対策が必要です。

整備効果

土砂災害から下流市街地における生活基盤の安全を確保します。

事業着手

平成20年度

平成20年度補正予算の内容

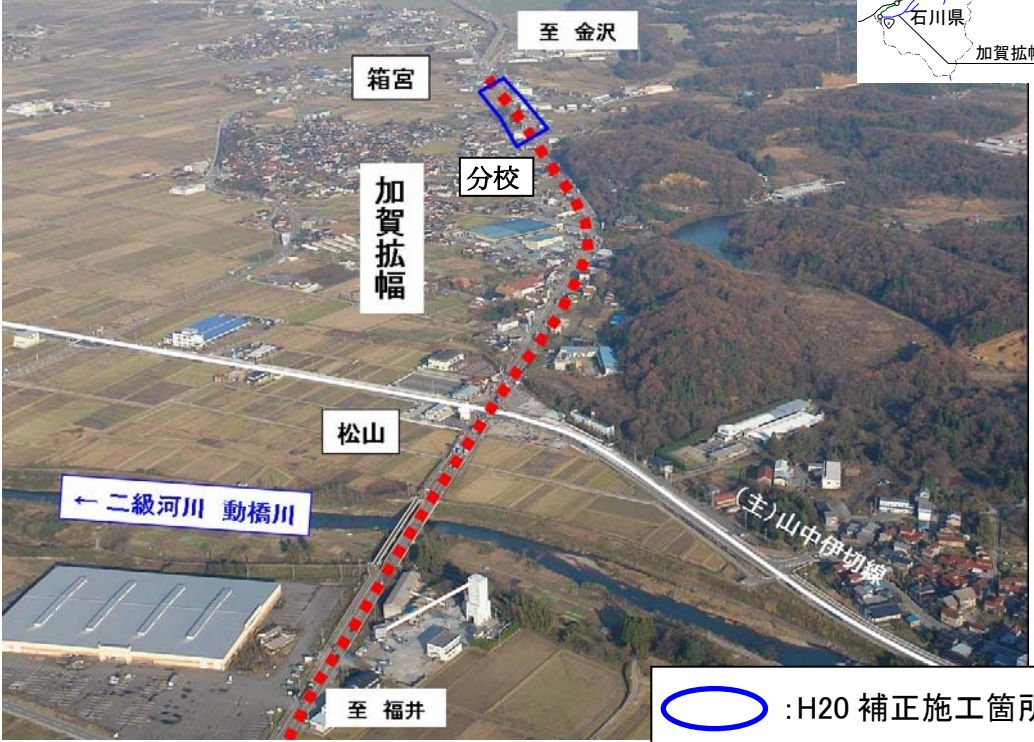

金沢市板ヶ谷町地先において、床固工等の整備に着手します。



板ヶ谷川上流域の被災状況



主要事業箇所（**直轄**・補助）事業

<p>国道 8 号 ^{かが} 加賀拡幅事業の推進 ^{いしかわ} ^{かが} 石川県加賀市</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 活力を育む地域づくり ● 安全で安心な地域づくり ● 住みよい地域づくり 	
<p>事業の概要</p> <p>加賀拡幅は、加賀市内の交通混雑の緩和を目的とした延長約 6.4km の事業です。</p> <p>整備効果</p> <p>北陸自動車道加賀 I C と国道 8 号小松バイパスに挟まれたボトルネック区間において、加賀温泉郷を中心とする加賀市の経済活動や観光を阻害する渋滞を解消します。</p>	
<p>事業着手</p> <p>平成 15 年度</p>	
<p>平成 20 年度補正予算の内容</p> <p>箱宮町から分校地区の改良工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の早期整備を目指します。</p>	
	
	
<p> : H20 補正施工箇所</p>	

主要事業箇所（**直轄**・補助）事業

なんごう
南郷地区防災対策事業の推進
いしかわ かが
石川県加賀市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、石川県を経て京都府京都市に至る延長約580kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に位置づけられています。

南郷地区の法面点検を今年度実施したところ、法面湧水や小規模崩落が確認されたことから、法枠工などの法面对策を実施し、安全・安心な道路ネットワークを確保するものです。

整備効果

緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成20年

平成20年度補正予算の内容

今年度実施した防災点検により、小規模崩落が各所に見られたことから、法枠工などの法面对策を実施します。



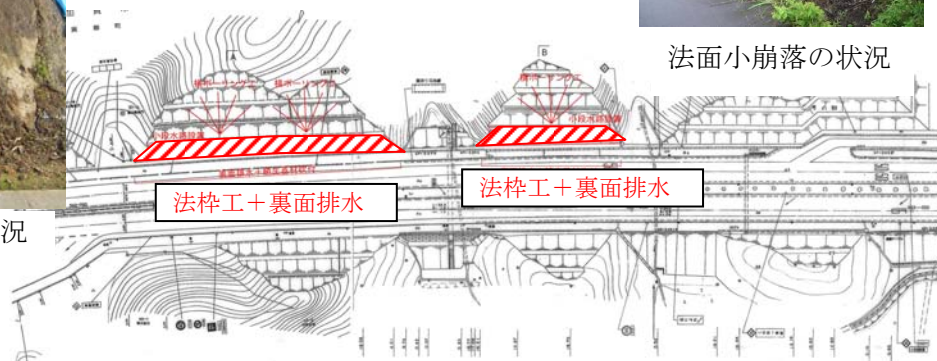
一般国道8号 南郷地区防災対策全景



法面小崩落の状況



法面湧水の状況



法枠工+裏面排水

法枠工+裏面排水

主要事業箇所（直轄・補助）事業

やまがみごうおおはし 山上郷大橋橋梁補修事業の推進 <small>いしかわ はくさん のみ</small> 石川県白山市、能美市
●安全で安心な地域づくり

事業の概要

国道157号は、石川県金沢市を起点とし、福井県を経て岐阜県岐阜市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

山上郷大橋は、今年度実施した現地調査の結果、桁端部の塗装の劣化や支承の腐食の進行が確認されたため、桁端部や支承等における劣化の著しい箇所について部分的に塗装塗替を行い、橋梁の長寿命化を図るものです。

整備効果

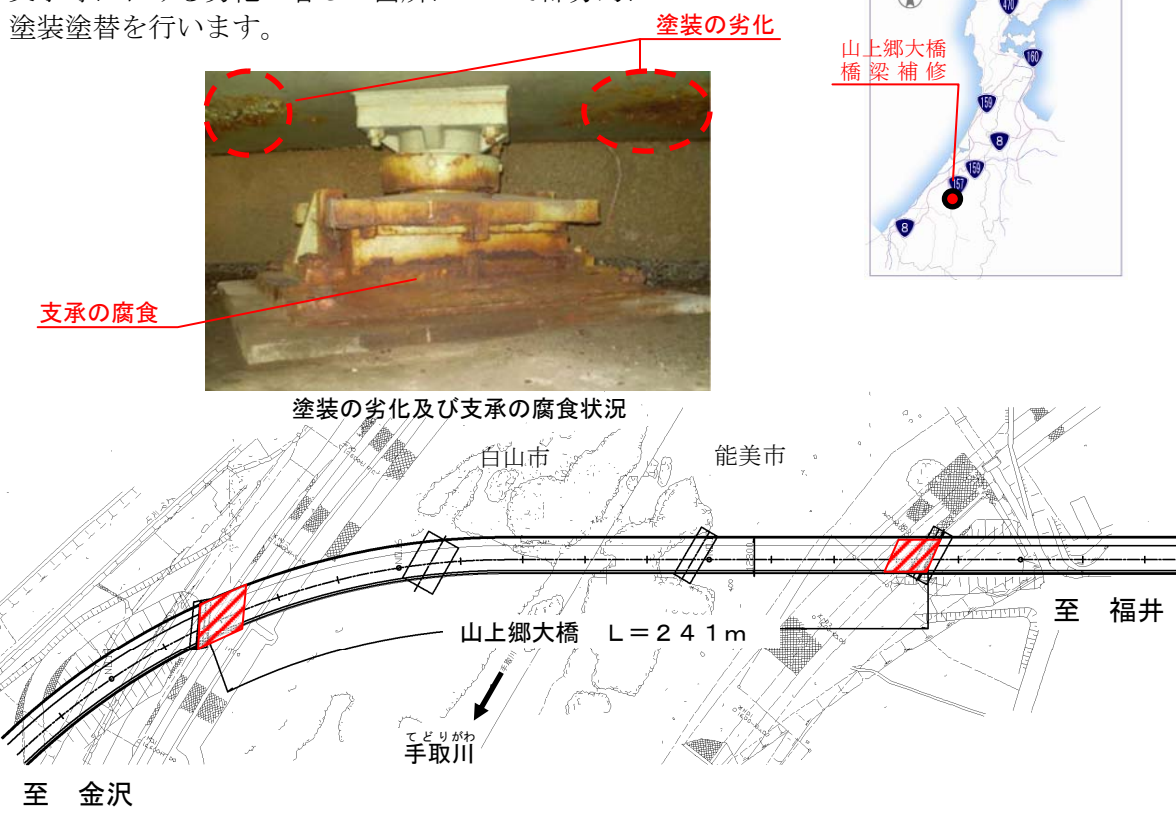
緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成20年

平成20年度補正予算の内容

今年度実施した現地調査の結果、桁端部の塗装の劣化や支承の腐食の進行が確認されたため、桁端部や支承等における劣化の著しい箇所について部分的に塗装塗替を行います。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

穴水地方合同庁舎 耐震改修事業の実施

いしかわ ほうす あなみず
石川県鳳珠郡穴水町

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

現行の耐震基準を満足していない穴水地方合同庁舎に対して、地震に対する安全性の確保を目的とした耐震改修工事を実施します。

整備効果

地震に対する安全性を確保することにより、人命の安全確保を図り、安全で安心できる地域づくりに寄与します。

事業着手

平成 20 年度

平成 20 年度補正予算の内容

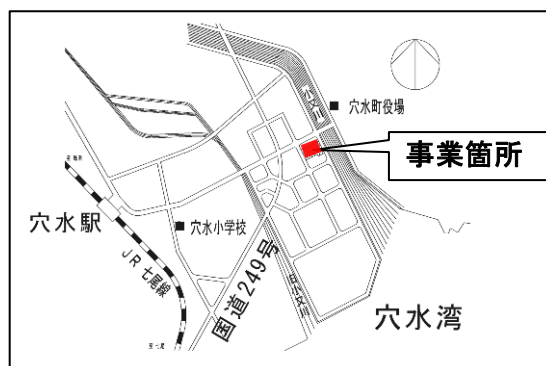
下記の施設について構造体等の耐震改修を実施します。

【庁舎】

構造：鉄筋コンクリート造

階数：3階建て

延床面積：1,578 m²



穴水地方合同庁舎
外観



主要事業箇所（直轄・補助）事業

阿賀川改修事業の推進

ふくしま きたかた あいづばんげ ゆがわ
福島県 喜多方市、会津坂下町、湯川村

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

阿賀野川水系阿賀川では、平成14年7月に既往最大出水を記録しました。幸い、破堤等の大災害には至りませんでした。その後の中小出水による土砂の堆積や樹木の急激な繁茂により河積が減少していることから、出水時における被害の軽減をはかることを目的とし、樹木伐採と併せて、河積の不足している箇所において河道掘削を実施します。

整備効果

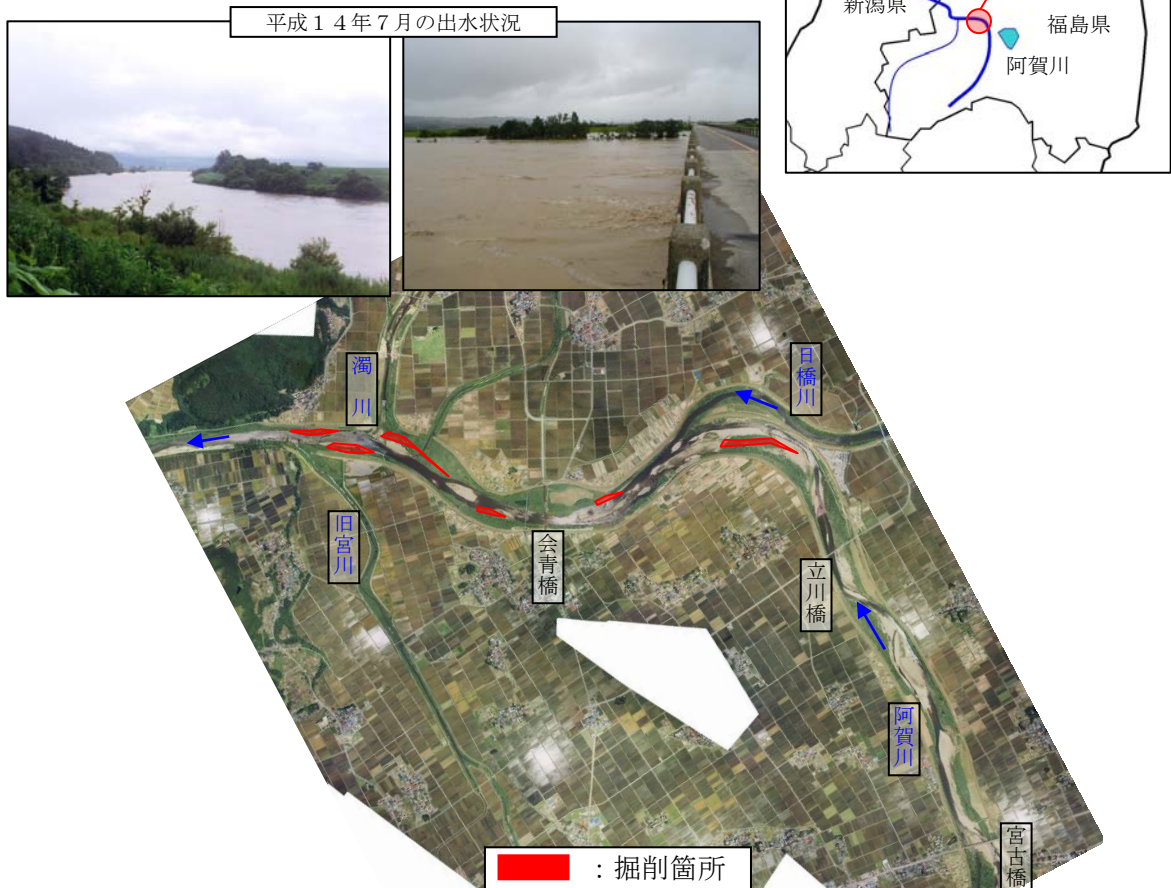
既往最大出水である平成14年7月洪水と同じ規模の洪水を安全に流下させることができ、治水安全度を向上させます。

事業着手

平成20年度

平成20年度補正予算の内容

河積が不足している箇所の河道掘削を実施します。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

たきさか
滝坂地すべりの整備推進
 ふくしま にしあいづ
福島県西会津

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

阿賀野川水系阿賀川に接する滝坂地すべりは、面積約150ha、推定地すべり移動土塊量約4,800万m³であり、日本有数の大規模地すべりです。地すべり活動が活発化すると、その移動土砂が阿賀川を閉塞し、沿川に浸水被害などをもたらす懸念があるため、阿賀野川流域の治水上重要な箇所となっています。

このため、平成8年度より直轄事業として着手し、地すべりを発生させる誘因となる地下水を排除するための排水トンネル工や集水井等の整備を進めています。

整備効果

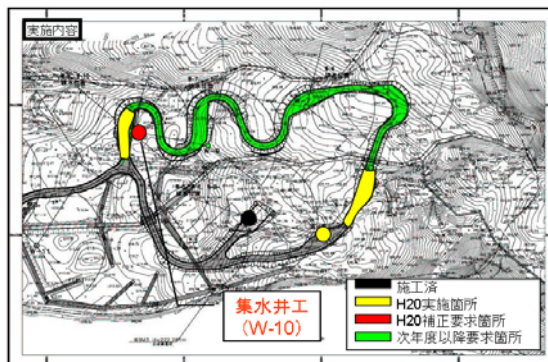
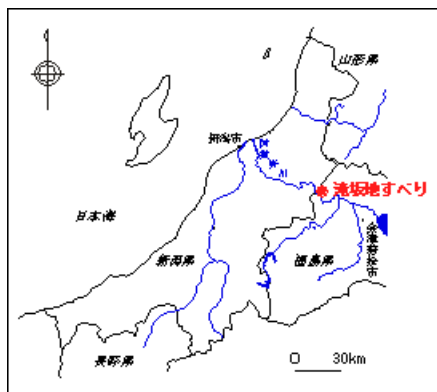
地すべり区域の安全度を向上させることにより、地すべり土塊の移動を抑制します。

事業着手

平成8年度

平成20年度補正予算の内容

集水井工を行います。



主要事業箇所 (直轄・補助) 事業

たてがはな
立ヶ花下流部無堤地区対策を推進
ながの なかの
長野県中野市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

千曲川の立ヶ花下流部は川幅が狭く、無堤・弱小堤が連続しており洪水を安全に流すことができないため、昭和56年、57年、58年と連続した大出水では、大きな浸水被害が生じたことから、同規模の洪水を安全に流すことを目的に、無堤地区対策を計画的に実施しています。

平成16年10月20日の台風23号出水、平成18年7月18日の梅雨前線豪雨出水では、現在無堤地区対策を実施中の箇所において再度浸水被害が発生したことから、再度災害防止に向けて対策を推進します。

整備効果

平成16年10月20日の台風23号出水、平成18年7月18日の梅雨前線豪雨出水で浸水した替佐地区において、再度災害の防止を図ります。

事業着手

平成10年度

平成20年度補正予算の内容

築堤等を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



H18年7月梅雨前線豪雨
千曲川の出水状況

【撮影：H18.7.19.】

主要事業箇所 (直轄・補助) 事業

ちくまがわ し の の い じゃくしょうてい 千曲川 (篠ノ井地区) 弱小堤対策の推進 ながの 長野県長野市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

千曲川篠ノ井地区は、堤防の幅及び断面が不足している弱小堤防であり、洪水を安全に流下させることが出来ないことから、背後地に県庁所在地の長野市を抱えている当該箇所での氾濫による被害は甚大なものとなることが予想されます。このため、弱小堤堤防を解消するための堤防の整備を行い治水安全度の向上を図る必要があります。

整備効果

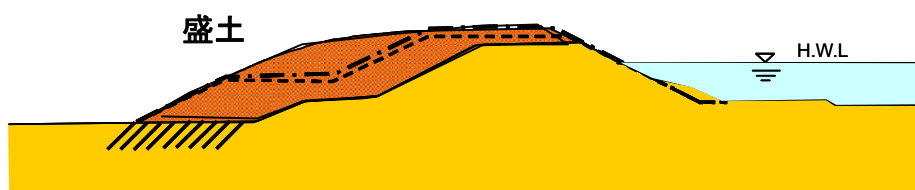
当該地区において、弱小堤対策を実施することにより治水安全度の向上を図ります。

事業着手

平成12年度

平成20年度補正予算の内容

築堤等を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



主要事業箇所（直轄・補助）事業

ひめかわおおいで

姫川大出床固工群の整備推進

ながの きたあずみ はくば
長野県北安曇郡白馬村

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

姫川と松川の合流点に位置する^{ひめかわおおいで}姫川大出床固工群は、土砂を含む洪水を適切に流下させ、流水の乱れ等が原因となって氾濫することを防ぐため、床固工の整備を推進します。

整備効果

床固工を整備することにより、下流域への土砂災害発生の防止を図ります。

事業着手

平成 15 年度

平成 20 年度補正予算の内容

床固工を行います。

位置図



姫川大出床固工群



姫川大出床固工群施工箇所

主要事業箇所（直轄・補助）事業

がまだがわ
蒲田川流木対策工の整備推進
 ぎふ たかやま
岐阜県高山市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

近年の出水で神通川の下流域へ大量の流木が発生し、富山湾では定置網の損傷など甚大な漁業被害が生じた他、港湾施設にも被害が生じました。次期出水期において、^{たかはらがわ}高原川流域からの流木が予想されるため、流木対策工を推進します。

整備効果

^{がまだがわ}蒲田川流木対策工を実施し、流下する流木を捕捉することにより、下流域への流木被害の軽減を図ります。

事業着手

平成 20 年度

平成 20 年度補正予算の内容

流木対策工の整備を推進します。



局地的な集中豪雨への予警報システムの高度化

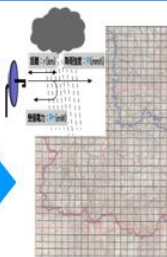
現状

Cバンドレーダにより全国をカバー、
降雨状況を実況監視しながら河
川を管理

Cバンドレーダ
(国交省、宝達山)



観測データを処理し
1kmメッシュデータに加工



携帯電話やパソコン
による提供

観測から情報提供までに要する時間 **約10分**

H20.7.28小矢部川・浅野川のような集中
豪雨に対しては、現レーダ網による出水予
測では十分な対応ができない

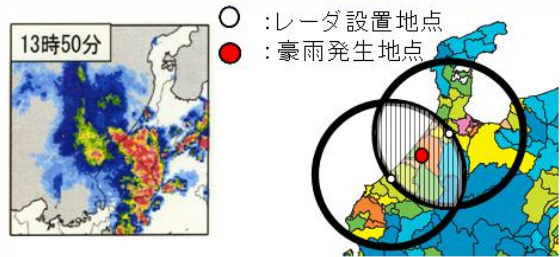
都市部等で急速に発生・発達

いわゆるゲリラ豪雨



対応(観測体制の強化)

Cバンドレーダ網による観測とあわせて、局地的豪雨の発生頻度の高い都市域等に**Xバンドレーダ**を導入し、降雨の**実況観測を強化**



Xバンドレーダの配置イメージ

詳細な降雨量分布の監視

250mメッシュで局所的豪雨の状況を
詳細かつ的確に監視

リアルタイム降雨情報の発信

10~20分間で急速に発達する豪雨に
対し、1分程度毎に

最新情報を提供、河川管理に活用

※Cバンドレーダ(波長5cm程度)は
広域的な降雨観測に適するのに対し、
Xバンドレーダ(波長3cm程度)は観
測可能エリアは小さいものの局所的な
豪雨をリアルタイムに高精度で観測す
ることが可能。

気象庁・国土交通省の既設レーダ

- 「Cバンド」: 波長5cm帯: **約1km**の分解能
- 反射強度のみ。降雨強度の予測には、毎降雨ごとに**地上雨量観測データを用いた補正が不可欠**(リアルタイムの豪雨情報の提供を困難にしている主たる要因)

Xバンドレーダの諸元

1. レーダの波長帯
照射方向に**125m~250m**分解能を有する「Xバンド波長3cm帯」レーダ
2. レーダ波の反射強度と波の周期のズレ(位相)
リアルタイムの降雨強度予測が可能(地上雨量観測データによる補正の必要がない)マルチパラメータレーダ(偏波レーダ)
3. レーダ波の周波数の変化
雨粒の移動速度による周波数変化(ドップラー効果)が測定できるドップラーレーダ